(H.25)No.

2059

災害救助費

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

会計区分 事業コード 230501 (中事業名)※予算書事業名 -般会計 款 民生費 災害救助費 項 災害救助費 (小事業名)

2059

	事務事業名	<sup>務事業名</sup> 災害救助費					
ı	担当部局名		担当室名	室長名			
ı	健康?	福祉部	生活支援室	山本 明志			

## 1. 事務事業の位置付け

総	政		策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
合	基:	本 政	策	2	安全で安心な地域づくり
計	施		策	1	防災
画	小	施	策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			ード		

## 2. 事務事業の概要

目 災害救助費

(H.26)No.

#### 事業目的(めざす効果)

被災世帯が生活再建に向けて資するように、市が支 援をしていく。

#### 事業内容

災害救助法の適用を受けた自然災害により死亡した 場合や重度の障害を負った市民に対し、災害弔慰金又 は災害見舞金を支給するとともに、被災世帯の生活再 建に資するように災害援護金の貸付を行う。

- ① 中慰金 生計主の死亡:500万円 その他:250万円
- ②見舞金 生計主:250万円 その他:125万円

③貸付金 被害の種類及び及び程度により150万円~ 350万円

3. 総合計画の日	<b>標達队に叩げた土は争耒の美頼 " 計画</b>
	11.05年度(東娄島、阪知安建) 11.06年度(東

H.25年度(事業量·取組実績) H.26年度(事業量·取組計画) H.27年度(事業計画) H.28年度(事業計画) H.29年度(事業計画) 災害弔慰金 2人 2.500千円 災害見舞金 2人 1,250千円 主な事業の 支給実績なし 実績·計画 災害援護貸付金 1件 1,500千円

同左 同左 同左

		H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
(Di	直接事業費	0 <b>千</b> F	5,250千円	5,250千円	5,250千円	5,250千円
	国·県支出金		2,812	2,812	2,812	2,812
訳	地方債		1,500	1,500	1,500	1,500
千四	その他()					
円	一般財源	(0)	938	938	938	938
人	職員	0.00	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
数	臨時職員等					
2	既算人件費	(0千円) 0千F	1,444千円	1,444千円	1,444千円	1,444千円
1	- ②総事業費	(0千円) 0千F	6,694千円	6,694千円	6,694千円	6,694千円

4. 担当室による事務事業の点検(\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

※「考察」及び「今後の対応方針」の記載対象外の事務事業

点検項目 (1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか

内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)

今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)

(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない

B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)

考察(H.25年度の取組評価、課題)

被災世帯が生活再建に向けて資するように、市が支援をしていく。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】

継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)

継続(現行)

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由

災害救助法に基づく事業であり、継続する。

🏹 6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画